

学部及び教員の活動実績

学部の活動内容

[1] 平成16年度からの富山国際大学の改組・改編、カリキュラム変更にもない学科名称変更

平成16年度から地域学部の学科名称を「地域システム学科」から「環境情報ビジネス学科」と名称変更することになった。(平成15年9月文部科学省認可)

[2] 富山国際大学地域学部完成年度記念フォーラム

(i) 「地域づくりと地域の未来づくり」フォーラムⅠ

日時：平成15年8月30日(土) / 場所：富山国際会議場メインホール(中ホール)

主催：富山国際大学地域学部 / 共催：日本政策投資銀行、北日本新聞社 / 後援：富山県高等教育振興財団、富山県、富山市、新湊市

- ・ 富山県知事 中沖 豊 ご挨拶

・ 基調講演：「地域の自立と今後の地域政策を考える」

日本政策投資銀行地域企画部企画審議役(地方分権・地域経営) 傍士 銚太 氏

・ パネルディスカッション「地域にあったこれからのまちづくり、くらしづくりについて」

パネリスト：富山市長 森 雅志 氏 / 新湊市長 分家 静男 氏

日本政策投資銀行地域企画部企画審議役 傍士 銚太 氏

コーディネーター：富山国際大学地域学部教授 長尾治明

(ii) 「地域づくりと地域の未来づくり」フォーラムⅡ

地域・国際貢献におけるNPO・NGO活動と大学の連携

日時：平成15年9月27日(土) / 場所：富山国際会議場2F 201号室,202号室

主催：富山国際大学地域学部 / 共催：北日本新聞社 / 協力：NGONPOネットワーク富山(NNNT)、国際協力事業団(JICA) / 後援：富山県高等教育振興財団

- ・ 第一部 基調講演：「現実に正対する心 国際協調諸活動の原点を求めて」

講師 粕谷 甲一 氏(元青年海外協力隊広尾訓練所所長)

・ 第二部 富山国際大学学生活動報告

(1) ボランティアサークルの活動報告

(2) 地域支援グループの活動報告

・ 第三部 パネルディスカッション

「地域・国際貢献におけるNPO・NGO活動と大学の連携」

コーディネーター：才田 春夫氏(富山国際大学地域学部講師)

パネリスト：・八林 明生氏---JICA(JICA北陸支部長、当日は橋本文成支部長代理が代行)

・谷口 新一氏---NPO(NPP)(住みたい富山研究所代表)

・川淵 映子氏---NGO(アジア子供の夢代表)

・石澤 岩央氏---行政(富山県生活環境部男女参画・ボランティア課主幹)

(iii) 「地域づくりと地域の未来づくり」フォーラムⅢ

深層水の未来を探るー

日時：10月25日(土) / 場所：富山県民会館3F 特別会議室

主催：富山国際大学地域学部 / 共催：北日本新聞社 / 後援：富山県高等教育振興財団
滑川市、入善町

・ **基調講演：「資源としての海洋深層水の展望」**

講師 東京大学大学院総合文化研究科教授 高橋 正征氏

・ **海洋深層水活用事例**

○ **大学などの取り組み**

「海洋深層水の活用技術」 富山国際大学地域学部教授 本多 宗高

「海洋深層水を利用したウリ類の栽培」 入善高校農業科3年 谷田彩乃、荻野桂ほか

「おいしい水とは？ - 海洋深層水と湧水 - 」 黒部市観光ボランティア・桜井高校・富山国際大学地域
学部合同湧水調査グループ

○ **企業の取り組み**

「海洋深層水を用いた発泡酒の開発」 アサヒビール(株)商品開発本部 酒類研究所
ビール開発部長 板谷 紀利氏

○ **行政の取り組み**

「滑川市における海洋深層水の利活用」 滑川市 農林課副主幹 碓井 善仁氏

「入善町における海洋深層水活用の現状と今後の動向」 入善町 海洋深層水課長 鍋谷良和氏

・ **質疑応答**

(iv) 「地域づくりと地域の未来づくり」フォーラムⅣ

観光ビジネス

日時：平成15年11月8日(土) / 場所：とやま自遊館 / 主催：富山国際大学地域学部

共催：日本政策投資銀行、北日本新聞社 / 後援：富山市、富山商工会議所、(財)富山コンベン
ションビューロー、(社)富山県観光連盟、富山市ホテル・旅館事業協同組合

・ **基調講演：「21世紀と日本の観光産業」**

日本政策投資銀行北陸支店長 岸野 努(きしの つとむ)氏

・ **観光ビジネスの実際：「21世紀の山中温泉を考える 全体が栄えて個も繁栄」**

山中温泉「かよう亭」社長 上口 昌徳(かみぐち まさのり)氏

・ **観光ビジネスの実際：「豊後高田『昭和の町づくり』への取り組み」**

豊後高田商工会議所「昭和の町」担当 金屋 俊樹(かなや としき)氏

・ **観光ビジネスの実際について：質疑応答**

[3] **第3回ホームページコンテスト**

富山県内の高校から、グループ、個人あわせて12件の応募あり。地域学部実行委員に富山県
マルチメディアセンター長も加わった審査を実施。平成15年11月1日には、表彰式、作品発
表会、交流会が大学を会場に開催された。最優秀賞に魚津工業高校2年生4名のグループ製作
の「ゴミ問題」テーマの作品が選ばれた。審査結果は本学のホームページで公開。

[4] **第3回課題研究コンテスト**

富山県内の高校から、グループ研究13件、個人研究1件の応募あり。第1回/第2回よりー

段と作品の質の向上が見られた。審査結果および作品の概要は本学のホームページで公開。

[5] **研究講演会**

「**地域経済の活性化とIT**」

(株)NTT データユニバーシティ代表取締役社長 荒川 弘熙(あらかわ ひろき)氏

日時:平成15年11月26日(水)/情報処理学会北陸支部、地域学部地域研究交流センター共催
で実施。

[6] **合同教養演習**

「**とやま恐竜時代 足跡化石から動物の行動や当時の環境がわかる**」

大山町教育委員会 主事(学芸員) 藤田 将人 氏

平成15年5月7日(水)

「**バスケットを通じて学んだこと**」

住友金属工業(株)北陸支社長 千種 信雄 氏

平成15年5月28日(水)

「**分県の歴史の向こうに**」

大島町絵本館館長 高井 進 氏

平成15年7月16日(水)

「**貧困と女性の差別に苦しむ途上国の女性達**」

ユニフェム日本常任理事 宮坂 洋子氏

(注): ユニフェム(UNIFEM)は「国連婦人開発基金」のこと。因みに ユニセフ(UNICEF)は「国連児童基金」のこと。

[7] **企業などの提供講座**

野村証券株式会社「**産業経営特別講義 資本市場の役割と証券投資**」平成15年前期、
講師は野村證券(株)&(株)野村総合研究所の社員が担当。(54名受講)

日本政策投資銀行「**地域学特別講義 地域活性化論**」平成15年後期、講師は日本政策投資銀行(北陸支店、富山事業所、調査部、地域政策研究センターなど)社員が担当。(68名受講)

JICA(国際協力機構)「**国際協力論**」平成15年度前期から新設、講師はJICA職員、青年海外協力隊&OBなどが担当。(142名受講)

北陸電力、日本海ガス、富山県林業カレッジ「**社会環境論 II エネルギー問題と環境の調和**」

提供企業などの研究者・役職者が担当。(81名受講)

NGO・NPOネットワークとやま(NNNT)の全面的な協力で「**NPO・NGO論**」を平成15年度前期から新設。NPO、NGO活動のリーダーのが担当。講義録も作成し、県内の全高校や関係機関に配布した。(147名受講)

富山県内の自治体の協力で「**自治体学概論**」を実施。担当は県内の市長・町長など。平成15年度後期に開設。森富山市長、分家新湊市長、土井小杉町長、新畑大沢野助役、中屋滑川市長、富山県人事委員会事務局 向井 文雄任用課長、日本政策投資銀行地域企画部 傍士 銚太企画審議役、富山国際センター 浜松 誠二日本海学研究員、クリエイティブルー

ム 野村 博代表 などが担当。(125名受講)

[8] 海外の大学との学術交流

富山国際大学はフランス・ブルターニュ地方のビジネススクール ISUGA(欧州 アジアビジネスマネジメント学院)と交換留学の協定を平成14年7月に結びました。

平成15年度も(平成14年度も後期に2名)5月から ISUGA から2名が地域学部にて勉強中。ラジオに出演したり大いに活躍している。平成15年2月には、地域学部の上坂博亨助教授が ISUGA に行つて「日本の IT(情報通信技術)の現状」についで集中講義を実施。平成16年3月にも ISUGA で集中講義の予定。

中国海洋大学海洋生命学院からは大学院の修士の学生(任海波)が本学で申請した1年間の留学受け入れのファンドを利用して地域学部の才田講師のもとで平成15年4月から1年間の研究生生活を送った。第2回とやま産学交流会で成果発表もおこなった。本学からは1名の学生が中国語を学ぶため海洋大学に平成15年はじめから1年間の予定で留学した。

[9] 地域貢献

高校出講プログラム

平成15年度は県内・外の高校からの依頼により本学部教員が12件の講義を実施。

地域社会出講プログラム

平成15年度は学会、地方自治体、各種団体からの要請に基づく委員への就任、講演など正確な数は把握していないが、50件程度。

[10] ベンチャー企業見学会

地域づくり、地域の未来づくりを目標とし、学生には地域社会での実際の現場に足を運び、自分の目で観察する機会として、平成14年度に引き続き、富山県新世紀産業機構の事業計画にあわせて10月30日(木)午後実施された富山県内のベンチャー企業の見学会に、富山国際大学地域学部の学生・教員合わせて30名が参加した。見学先は、「ティーアンドティ タカマツタテグ」(富山市西荒屋)、「ジェック経営コンサルタント」(富山市港入船町)の2ヶ所、「システムユニオン」(富山市高田)、「ジオインフォシステム」(富山市高田)の2ヶ所を回る2班に分かれて実施した。

[11] 地域学部自己点検報告書 III

日本で初めての地域学部が平成12年4月に開設されほぼ2年の経過を振り返って現状と課題、対策などを教員からの意見、提案を元に自己点検報告書 I としてまとめ関係各機関に配布。本学のホームページでも一般公開した。平成14年度末にはカリキュラムの検討を中心に自己点検報告書 II として配布・公開した。平成15年度末には地域学部完成年度を迎えての総括、今後の展望についてまとめ配布・公開の予定。

[12] 全国大学実務教育協会の資格取得について

学生の資格取得要求に応えるためと聴講授業選択に役立つことを期待して、平成14年2月に「全国大学・短期大学実務教育協会」(平成15年10月に「全国大学実務教育協会」に名称変更)に加盟し上級情報処理士、上級ビジネス実務士、社会調査実務士の資格取得の課程の申請し、承認された。平成15年度には、国際ボランティア実務士の資格取得の課程が認められた。平成15年度末にはかなりの学生がそれぞれ称号を取得見込み。(平成15年3月認定:

上級情報処理士 17名、上級ビジネス実務士 11名、平成15年7月認定：上級情報処理士 9名、上級ビジネス実務士 9名、社会調査実務士 1名 平成15年11月申請：上級情報処理士 17名、上級ビジネス実務士 8名、社会調査実務士 1名、国際ボランティア実務士 1名) 平成16年度からは、「ウェブデザイン実務士」の資格取得課程が認められる予定(申請中)。

[13] 資格取得支援特別講座

学生の卒業後の就職支援のため各種の資格取得の受験特別講座を夏季休暇中、土、日、祝日などを利用して開設。平成15年度は、平成14年度に引き続き、販売士、初級アドミニストレータ試験、危険物取扱者、福祉住環境コーディネータ検定、ビジネスコンピューティング検定などの講座を開設、対象は学年に関係なく地域学部学生。合格者がより上位、別の資格取得に取り組み合格の事例も数例あった。これまでに資格取得者は、初級システムアドミニストレータ 4名、基本情報技術者試験 3名、福祉住環境コーディネータ 2名、販売士3級 10名、販売士2級 1名 と成果もでて来ているので教員の努力も報われる思いである。

[14] 地域学部学生を中心とするボランティア活動

地域学部の理念・目標を「地域づくりと地域の未来づくり」を担う人材・リーダーを育成とし、新しい視点から「情報(IT)」、「環境」、「経営」をキーにしたカリキュラムを策定した。また、毎年時代の要請に応えられるようなカリキュラムも新設してきた。創設時から学外研修(インターシップ)、企業経営陣によるオムニバス方式での現代企業特別講義を設置、平成14年度には企業など提供講座、平成15年度には、NPO・NGO論、国際協力論など新設した。こういった講義・担当者の熱意に触発されて地域社会と連携したボランティア活動も活性化している。

「地域づくり支援グループ」は富山市中心商店街ホームページのコンテンツ制作などを通して地域社会と連携を深めた活動が平成15年6月に富山商工会議所から「GOOD WORKING賞」を受賞した。富山市が平成15年度7月から開始した「さわやか活動」実施の「アーバン・アテンダント事業」に43名が登録・参加し、現時点では、25名が活躍している。

「ボランティアサークル」(25名)は、富山市民提案型まちづくり公開審査会で「バリアフリーで住みよい街」を提案し、活動助成金を授与された。視力障害者に焦点をあて、街の点字ブロック上の障害物除去、点字翻訳・拡大メニューの作成などを行っている。また、その他の主な活動として下記のものがある。 児童養護施設での家庭教師&レクレーション 毎週10名参加 老人ホームでの手伝い(レクレーション)毎週5-10名 大山町社会福祉協議会(ボランティア課)へのヘルプ 適宜数名 HPによる情報発信(近日公開予定) NPO・NGOシンポジウムにて活動報告(9月27日)8名 他のボランティア団体等との交流会や共同活動など 富山県ボランティア大会で活動発表 6名 富山県ボランティア大会で“あそあそ自然学校”と合同で模擬店出展 10名 国際大大学祭でNGOアジア子供の夢のために物品販売など 10名。

平成15年度に新設された国際ボランティア実習をサモアで実施したが、それに参加した学生を中心に組織された「サモア研究会」(10名)は、オープンキャンパスで国際ボランティア海外実習の活動報告9月7名 国際大大学祭でサモアカフェオープン&サモアダンス披露 10月9名 ボランティアサークル&管弦楽部と合同で老人ホーム慰問演奏会 平

成 16年3月10日(予定)

情報系ゼミ学生が大山町教育委員会と連携し、平成15年度に小学生向けにパソコン教室を4回開催。町の小学校のパソコンのメンテナンスも実施した。今後は組織化し、「CAST」(Computer Assisting Students of Tuins)の名称で、大学で学んだ情報技術を利用して、大学生が地域住民や学校への情報技術サポートサービスを行う事で、学生が社会的経験を積むと同時に、情報技術サポートの実践的鍛錬の場とすることを目的とし、また大学生と地域住民との交流を通して、連携を密にし「地域づくりと地域の未来づくり」に繋げる。今後、活動が発展し地域社会がIT革命下での電子自治体としてどうあるべきかの政策提言・実現の支援をも視野にしている。

教員の活動内容

情報系

上坂 博亨

【著書・論文・学会報告】

論文

- 1) Prediction of Polyethylene Density by Near-Infrared Spectroscopy Combined with Neural Network Analysis, J. Computer Chemistry, vol. 2, No.1, pp33-40, 2003
- 2) 経験的分析手法としてのニューラルネットワーク, 化学と教育, 51巻5号, 284-287, 2003

【学外活動(講演・外部講師・研修会・非常勤講師等)】

講演・外部講師

- 1) 課題研究発表会講師, 2003年2月4日, 県立大門高等学校
- 2) Recent Technologies for Connection to the Internet, ISUGA, France, March, 2003
- 3) The Neural Network ~ Basics and a Demonstrations ~, ISUGA, France March, 2003
- 4) 「ブロードバンドがやってきた」講演, 大山町民生涯学習大学, 2003年6月30日, 大山教育委員会
- 5) 「近未来のネットワーク社会」, 体験講義, 2003年7月14日, 福井県立武生高等学校
- 6) 「近未来のネットワーク社会」, 高校出講プログラム, 2003年10月6日, 国際大付属高校

研修会

- 1) 初級システムアドミニストレータ受験特別講座 春季対策, 2003年2~3月
- 2) 初級システムアドミニストレータ受験特別講座 秋季対策, 2003年8~9月
- 3) 第1回「ITメイト」講師, 大山町教育委員会, 2003年7月7日~18日, 国際大学

- 4) 第2回「ITメイト」講師, 大山町教育委員会, 2003年9月8日~19日, 国際大学
 - 5) 大山子供元気クラブ「PCクラブ」, 大山町教育委員会, 2003年10月, 大山町民文化会館
非常勤講師
- 1) データベース論, 富山短期大学経営情報学科, 2003年4月~7月:
 - 2) 生活と情報, 富山短期大学福祉学科, 2003年4月~7月

【資格認定】

- * ISUGA(Institut Management Europe-Asie)客員教授に認定, 2003年11月13日

【その他(部活動等)】

- 1) 施設慰問演奏, 2003年5月21日, 大沢野町「かがやき」
- 2) サロンコンサート, 2003年6月15日, 高岡市民会館
- 3) 富山県吹奏楽祭, 2003年6月15日, オーバードホール
- 4) 施設慰問演奏, 2003年10月5日, 富山市視聴覚障害者センター
- 5) 依頼演奏, 2003年11月14日, 石川県経営者協会
- 6) 第1回定期演奏会, 2003年12月14日, 大山町民文化会館
- 7) 全日本アンサンブルコンテスト富山地区(銀賞), 2004年1月11日

亀子 正喜

【論文】

1. "On the Rothenberg-Steenrod spectral sequence for the mod 3 cohomology of the classifying space of the exceptional Lie group SE_8 ", 数理解析研究所講究録, to appear.

【学会発表】

1. "Invariant theory and its application to the mod p cohomology of classifying spaces of exceptional Lie groups", 岡山理科大学術講演会, 平成15年2月5日.
2. "Generators of the cohomology of SBV_4 ", ingo2003 (Invariant Theory and its Interaction with Related Fields), ドイツ・ゲッチンゲン大学, 平成15年3月23日~29日.
3. "On the Rothenberg-Steenrod spectral sequence for the mod 3 cohomology of SBE_8 ", International Conference on Algebraic Topology, 城崎, 平成15年7月27日~8月1日.
4. "On the Rothenberg-Steenrod spectral sequence for the mod 3 cohomology of the classifying space of the exceptional Lie group SE_8 ", 有限群のコホモロジー論の研究集会, 京都大学数理解析研究所, 平成15年9月1日~5日.
5. "The mod 5 cohomology of the classifying space of exceptional Lie group SE_8 ", 空間の代数的モデルと幾何的モデルの研究集会, 岡山大学, 平成15年9月4日~6日.

【学外活動】

1. 平成15年度大山町教育委員会主催パソコン教室講師(7月7日~18日,9月8日~19日)

北野 孝一

[論文など]

1. NPO・NGOと大学の連携
富山国際大学地域学部 地域連携講座「NPO・NGO論」講義録(平成15年4月~7月)
収録論文、PP.81 - 83、2003年
2. 21世紀を拓く地域学部のコンセプト 「地域づくりと地域の未来づくり」の智の拠点に
世界平和研究、2004年(掲載予定)

【学外活動(研修会、講演、委員会委員等)】

[講演]

1. 「地域を通じて世界を学ぶ」(普通科1年「総合的な学習の時間」でテーマ『地域について知ろう』を開始するにあたっての基調講演) 富山県立雄山高等学校 1年対象講演、平成15年5月27日(火) 13:00~14:30
2. 「地域学に親しむ」 地域づくり、地域の未来づくり 第1回:「IT革命と地域づくりと地域の未来づくり」,平成15年度富山市民大学
(於:富山市民プラザ4F、平成15年5月7日(水)13:30~15:30)
3. 「地域学に親しむ」 地域づくり、地域の未来づくり 第2回:「行政サービスとIT革命」,
平成15年度富山市民大学
(於:富山市民プラザ4F、平成15年6月4日(水)13:30~15:30)
4. 「地域学に親しむ」 地域づくり、地域の未来づくり 第3回:「教育とIT革命」,
平成15年度富山市民大学
(於:富山市民プラザ4F、平成15年7月2日(水)13:30~15:30)
5. 「IT革命と地域づくり、地域の未来づくり」
山形大学大学院理学研究科 数理科学特別講義Ⅰ
平成15年8月7日(木)~8日(金)、山形大学大学院理学研究科
6. 「21世紀の今、若者に期待するのは?」社会人講話、富山県立上市高等学校
平成15年11月19日(水)、富山県立上市高等学校
7. 「IT革命に期待する!」、富山みらいロータリークラブ、平成15年12月例会卓話、平成15年12月2日(火)、富山第一ホテル
8. 「県内を結ぶ高速な網の目」,県民カレッジ主催講座:人間探求講座/産業・経済コース「挑戦する富山の産業」,富山県民生涯学習カレッジ
平成16年3月6日(土) 於:富山県教育文化会館

[委員など]

1. 「第10回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム 富山」富山工業高等専門学校主催、富山県・富山市・富山県高等教育振興財団・富山工業高等専門学校教育後援会 後援、第10回会議(日時:平成15年11月30日~12月2日、於:富山国際会議場)のための実行委員 (第1回から実行委員継続)
2. 「夢を追いもとめて」刊行委員、(財)富山県ひとづくり財団、2002年12月~現在
3. 「未来観光戦略会議」委員 中部経済産業局北陸ものづくり創生協議会の北陸ものづくり創生プロジェクトの研究会、2002年12月~現在

高尾 哲康

【著書・論文】

1. 「CATV回線を利用した広域VoIPネットワークの構築」、富山国際大学地域学部紀要、Vol.3, pp.51-61, 2003
2. CATV回線を利用した地域・広域VoIPネットワークの構築、インターネット快適利用環境整備に関する実証実験報告書、地域マルチメディア・ハイウェイ実験協議会21
3. 「比較的少量の文書に対する柔軟で高品質な検索システム」、富山国際大学地域学部紀要、Vol.4

【報告書等】

1. 教育・研究用コンピュータシステムの構築と発展、山形県立米沢女子短期大学創立50周年記念誌

【学外活動(研修会・講演、委員会委員等)】

1. インターネット快適利用環境整備に関する実証実験委員会委員、(財)電気通信高度化協会

登石文夫

【著書・論文】

単著『社会調査のための統計学』青山社(相模原市),平成16年3月刊、B5判200頁

【委員等】

平成14,15年度、大山町都市計画審議会委員

増田 功

【講演】

1. 「企業における研究シーズ・ニーズと人材育成」 熊本大学大学院自然科学研究科 平成15

年1月16日

於 熊本大学

【学外活動】

1. 情報処理学会北陸支部評議委員

【学内活動】

1. 情報センター運営委員会 委員長
2. 広報委員会 委員長
3. 広報企画委員会委員
4. ホームページコンテスト実行委員長
5. 地域学部カリキュラム検討委員会主査
6. 就職委員会委員
7. インターンシップ(学外研修)委員会委員
8. 国際大学再編推進会議委員
9. 国際大学改組改編ワーキンググループ委員
10. その他: 合同教養演習の一環として外部講師による講演会実施「地域経済の活性化とIT」

吉牟田 裕

【論文】

1. 「Webによる履修登録システムの構築と運用 - ウェブデザインからDBMS、運用体制まで - 」富山国際大学地域学部紀要、Vol.4、2004年3月
2. 「富山県内企業ウェブページのデザインの分析」、富山国際大学地域学部紀要、Vol.4、2004年3月

【学外活動】

- 研修会
 1. 第1回「ITメイト」講師, 大山町教育委員会, 2003年7月7日~18日, 国際大学
 2. 第2回「ITメイト」講師, 大山町教育委員会, 2003年9月8日~19日, 国際大学

【学内活動(特別講座)】

1. 初級システムアドミニストレータ受験特別講座 講師 春季対策, 2003年2~3月
2. 初級システムアドミニストレータ受験特別講座 講師 秋季対策, 2003年8~9月

環境系

安藤 満

[著書、論文等]

- (1)山元昭二、安藤満他：「関東地区における高齢者の菌陽性肺結率の季節変動と気象要因との関係」日本生気象学会誌、40巻、83-92、2003年
- (2)安藤満：「アメリカ合衆国における旧制農薬中毒の監視サーベイランス:G.M. Calvert、韓国における農業従事者の職業的傷害と疾病:Hyun-Sul Lim」温暖化による健康影響と社会適応に向けた総合的リスク評価に関する研究」環境省地球環境研究総合推進費研究平成13年度成果報告書、p71-75、2002年6月
- (3)安藤満：「生ゴミ等のコンポスト化に伴う微生物のはたらき - 土壌肥沃化と有機農業への橋渡し - 」黒部川扇状地第28号、98-102、2003

[学会シンポジウム発表]

口頭発表

- (1) 安藤満、山元昭二：「地球温暖化と熱中症」第42回日本生気象学会公開シンポジウム「地球温暖化と熱中症の予報と予防」、神戸市、兵庫県民会館、2003年10月19日
- (2) 安藤満、山元昭二：「温暖化による健康影響リスク研究の現状」気候影響利用研究会/バイオクリマ研究会共催シンポジウム「気候変化と健康」、東京都品川区、立正大学大崎校、2003年11月8日
- (3)安藤満、山元昭二：「温暖化予測と健康影響について」第44回日本花粉学会公開シンポジウム「花粉症予防のための環境対策」、富山県民共生センター、2003年10月10日
- (4)安藤満：「基調講演：地球温暖化の影響と対策についての視点」、富山県「地球温暖化防止月間講演会」富山市、北日本新聞ホール、2003年12月3日

ポスターセッション

安藤満：「地球温暖化による人の健康への影響」第2回とやま産学官交流会、富山市、富山国際会議場、2003年11月11日

[学外活動]

委員会委員

- (1)「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第4次評価報告書に向けての国内連絡会準備会」委員
- (2) 富山県環境審議会調査員
- (3) 富山県新世紀産業機構「地域新産業創出総合支援事業：環境バイオ研究会」委員

学会活動

国際農村医学会(IAAMRH)理事、日本衛生学会評議員、日本農村医学会評議員、富山県農村医学会理事、日本生気象学会評議員

尾畑 納子

【著書、論文、その他】

- ・「環境負荷軽減のための洗浄に関する基礎研究(第1報)」富山国際大学紀要3(135~141) 2003
- ・第5章「衣服の管理」:改訂版21世紀のテキスタイル科学(共著)日本繊維機械学会(2003.3)
- ・Research on the Detergency of Clothes with Alkaline and Acid Electrolyzed water :41st International Detergency Conference Proceedings ,371,2003

【学会発表】

1. 日本家政学会平成15年度年次大会研究発表(2003.5.24,お茶の水女子大学)
「生活排水への負担低減のための洗浄システム」
2. wfk 41st International Detergency Conference (2003.5.18-21,Duesseldorf, Germany)
“Research on the Detergency of Clothes with Alkaline and Acid Electrolyzed water”
3. 平成15年度繊維学会年次大会(2003.6.11,京都リサーチパーク)
「衣類の洗濯への機能水の応用」
4. とやま産学官交流会ポスター発表(富山国際会議場,2003.11.11)
「電解水を利用した洗滌方法の開発」

【研究活動】

- ・「生活排水への負荷低減のための洗浄システムの研究」(平成14・15年度)
科学研究費(B)補助金による研究採択(分担テーマ:機能性ビルダーの洗浄性およびビルダー能に関する検討)

【学外活動】

1. 研究会、講演会講師(平成15年度)
 - ・ 高校出講プログラム1件(石動高校7/7)
 - ・ 富山国際大学公開講座(11/27,八尾町)
 - ・ 富山市民大学講座(一般コース)(10/1,10/29,11/5,11/29)

各種委員等(平成15年度)

学会:日本家政学会代議員、繊維製品消費科学会北陸支部常任幹事、繊維機械学会北陸支部理事、富山県消費者協会理事

委員:富山県新世紀行政改革懇話会委員、富山市産業廃棄物処理施設審査会委員、富山市上下水道経営会議委員、IBM北信越会議会員、シティFM番組審議委員 等

桑原 宣彰

【著書・論文等】

論文

1. 桑原宣彰; ペットボトルリサイクル繊維を用いたユニフォームの使用実態, 富山国際大学研究紀要, **3**, P93(2003)
2. 桑原宣彰; プラスチックごみを中心とした生活環境, 黒部川扇状地研究, **28**, P 83, (2003)

口頭発表

1. 日本繊維製品消費科学会年次大会研究発表会、「鶏羽毛の有効利用 - 繊維への応用 - 」2003年6月21日(奈良)
2. 日本家政学会中部支部研究発表会、「鶏羽毛の有効利用に関する研究」2003年9月12日(名古屋)

ポスターセッション

1. 第2回とやま産学官交流会、「鶏羽毛の有効利用に関する検討」2003年11月11日、富山

【学外活動(学会・研究会、研修会・講演、委員会委員等)】

学会・研究会

1. 日本繊維製品消費科学会北陸支部長、日本繊維機械学会・繊維学会北陸支部理事
2. 日本繊維機械学会 繊維リサイクル技術研究会会員
3. 日本繊維製品消費科学会北陸支部総会・講演会開催、2003年6月27日、富山
4. 学会誌論文等査読：日本繊維製品消費科学会誌 2件

研修会・講演等、委員会委員等

1. 日本消費生活コンサルタント・アドバイザー協会中部支部主催シンポジウム「持続可能な循環型社会へ環境ビジネスの可能性を探る」出展企業ブースコメンテーター、2003年10月18日、名古屋
2. 介護福祉士養成講座「家政学概論」、社会福祉協議会、2003年9月19日、富山
3. 第2回とやま産学官交流会実行委員

才田春夫

【著書・論文・学会報告】

論文

GSI を指標とした微生物動態解析 中国北西部の沙漠に点在する半閉鎖系高塩分水圏を例として 才田春夫(2003):富山国際大学地域学部紀要第3巻 45-50.

その他

- ・国際ボランティア海外実習をサモアで実施：富山国際学園報 2003.10月号
- ・国際ボランティア海外実習報告：富山国際大学学内報コスモス通り 40

学会/研究会報告

- 1)国際協力の産学協働をめざして エコテクノロジー研究会定例研究会で講演 2003年8月23日

- 2) 「地域・国際貢献における NPO・NGO 活動と大学の連携」地域学部シンポジウムでコーディネーターを務める 2003年9月27日
- 3) 高塩分環境における微生物群集の染色指標 第2回とやま産学官交流会研究発表 2003年11月11日
- 4) Nitrification by a newly isolated nitrifier, immobilized in PVA (polyvinyl alcohol) 第2回とやま産学官交流会研究発表 2003年11月11日

【学外活動】

講演

- 1) 環日本海交流講座－中国に対する環境協力 2003年7月8日 付属高校で講演
- 2) 地球環境の鍵を握る発展途上国 南太平洋の小国サモアの環境問題と国際協力を考える 魚津工業高校環境シンポジウム 2003年11月23日 基調講演
- 3) 学生生活から見た中国の将来像 2003年2月14日(予定) 付属高校で講演
- 4) 苦楽享受の国際協力 2003年2月18日(予定) 国際ソロプチミスト富山 東で講演
委員
富山環境・バイオ研究会委員

【その他】

サークル顧問

- 1) ボランティアサークル
市民提案型まちづくり審査会で助成金授与される
 - 2) サモア研究会顧問
その他
- 1) JICA 講座：国際協力論開講
 - 2) 中国海洋大学大学院生受け入れ

経営系

木村幸信

【学外活動】

(学会・研究会活動)

1. 日本経営工学会・北陸支部運営委員
2. 北陸の経営と情報を考える会・主査
(講演)
1. 日本MH(マテリアル・ハンドリング)協会・関西支部総会特別講演
「マニファクチュアリング・ハンドリングのすすめ」
2003年5月28日・大阪市

2. 富山市民国際交流協会・C I Cビル移転記念特別例会
「独立国家・富山の夢 - 集権と分権 - 」(英語)
2003年12月6日・富山市

助重 雄久

【著書・論文】

1. 伊江島の農業展開課程と課題、平岡昭利編著『離島研究』、海青社、pp.113-128.
2. 富山県黒部市生地地区における湧水の利用 - 「清水めぐり」によるまちおこしとその課題 - 、富山国際大学地域学部紀要、4、83-96.

【口頭発表】

1. 農山村における携帯電話・インターネットの活用とその課題(2003年度立正地理学会研究発表大会、2003年6月7日、立正大学熊谷校舎)
2. 円滑で環境にやさしい交通施策の提案 - アメリカ合衆国シアトル都市圏での取り組みに学ぶ - (砺波散村地域研究所・富山地学会合同例会、2003年11月29日、砺波市役所)

【学外活動(委員会活動等)】

各種委員

1. 荒尾市史編纂委員会専門委員(熊本県荒尾市、1999年7月～現在に至る)
2. 富山地学会幹事(2000年5月～現在に至る)
3. とやま棚田ネットワーク委員(富山県農林水産部・富山県農林水産公社、2001年11月～現在に至る)
4. 沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員(2002年4月～現在に至る)
5. 立正地理学会評議員(2002年4月～現在に至る)
6. 平成15年度食祭とやま実行委員会「特産の匠」選定委員(平成15年度食祭とやま実行委員会、2003年7月～11月)

【その他】

学生による調査研究成果の口頭発表およびその指導

1. 富山国際大学黒部川扇状地湧水調査グループ(代表発表者：池淵 正敏)：黒部市生地地区の湧水とその利用(第2報)(富山地学会2002年度修士論文・卒業論文発表会、2003年3月2日、富山市科学文化センター)
2. 黒部市観光ボランティア・桜井高等学校生活環境科・富山国際大学地域学部合同湧水調査グループ(代表発表者：池淵 正敏)：おいしい水とは - 海洋深層水と湧水 - (「地域づくりと地域の未来づくりフォーラム - 海洋深層水の未来を探る - 」、2003年10月25日、富山県民会館)

学生による野外調査およびその指導

1. 富山市の中心商店街の利用実態調査・自家用車の乗車人員調査(「教養演習」の一環として実施、2003年6月14日・11月9日、富山市総曲輪・中央通り・西町一帯)

2. 黒部川扇状地の湧水利用に関する野外調査 (黒部市観光ボランティアの皆さん、桜井高等学校生活環境科の高校生・教諭と合同で実施、2003年8月3日、黒部市生地地区)
= 2003年8月4日付北日本新聞および富山新聞朝刊に記事掲載
3. 黒部川扇状地の湧水利用に関する野外調査 (「地域地理学演習」の一環として実施、2003年10月26日、黒部市生地地区)

高橋哲郎

【著書・論文】

1. 「東アジア経済に果たす環日本海地域の役割」、『とやま経済月報』12月号、2003年12月

【学外活動(研修会・講演、委員会委員等)】

1. 第2期富山地方労働審議会臨時委員(家内労働部会委員)
2. 「東アジアにおける都市型中小企業と農村工業化に関する比較研究」
平成15年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(2))研究協力者
3. (財)環日本海経済研究所 韓国経済構造調整研究会
「韓国におけるベンチャービジネス育成の現状と富山県産業との交流の
フィージビリティー 国際的・地域間経済交流の事例研究」2003年3月
4. 日本政策投資銀行 富山地域研究会

長尾 治明

【著書・論文】

- 「第9章ボランタリーチェーン(VC)とフランチャイズチェーン(FC)」共著、『日本の流通の再生』木綿良行・三村優美子編著、中央経済社、2003年6月
- 「地域学のすすめ(48)(50)(52)(54)(56)」『実業之富山』単著、2003年2月・4月・6月・8月・10月、実業之富山社
- 「平成14年度商業統計にみる写真小売業の現状と展望」単著、2004年1月、カメラタイムズ社

【主な学外活動(委員会、研修会・講演等)】

- 「北陸地方開発促進計画の重点課題に関する研究会」講師 国土交通省国土計画局地方計画課、2003年3月
- 富山県大規模小売店舗立地審議会委員 富山県商工労働部
- 「第7回ベンチャープラザとやま」基本構想委員会委員長 富山県商工労働部

- 富山県商業活性化推進委員会委員 (財)富山県新世紀産業機構
 タウンマネージメント推進懇談会アドバイザー 富山県商工会連合会
 多角的連携指導強化事業委員会委員長 富山県中小企業団体中央会
 富山県若年者雇用問題検討会議委員 富山労働局
 富山市観光推進連絡協議会委員長 富山市観光協会
 公共空間の活用による市街地の活性化検討調査委員会委員長 富山市
 中心商店街地区回遊性確保調査検討委員会委員長 富山市
 産業観光推進協議会副会長 富山商工会議所
 富山市価値創造プロジェクト特別委員会委員 富山商工会議所
 企業等OB人材マッチング富山協議会委員 富山商工会議所
 人材育成富山地域協議会委員 雇用・能力開発機構
 魚津市まちづくり有識者会議委員 魚津市役所
 滑川市商業タウンマネジメント構想策定委員会委員長 滑川市商工会議所
 氷見地域観光振興ビジョン策定調査委員会委員長 財団法人北陸産業活性化センター
 水と緑といのちの回廊(仮称)調査検討委員会委員 財団法人北陸経済研究所
 富山県地域産業IT活用推進事業審査委員会委員 (株)富山県総合情報センター
- 21 高齢化社会(介護福祉分野)対応懇談会 富山県中小企業団体中央会 2003年12月
 22 「これからの企業経営を考える」第53回富山県商業教育振興会定期総会 2003年6月
 23 「まちづくり・地元産業の活性化について」福岡町商工会、2003年7月
 24 「富山県経済について」富山県警察学校、2003年7月
 25 「中小企業の連携と交流について」富山県中小企業団体中央会、2003年8月
 26 職場のリーダー開発「経営組織の変化と効果的なリーダーシップ」富山地域職業訓練センター協力会、2003年10月
 27 新入社員研修「営業マーケティング」富山地域職業訓練センター協力会、2003年3月・4月
 28 「地域活性化に果たす公共交通の役割」パネルディスカッションコーディネーター、『公共交通利用促進シンポジウム』日本鉄道OB会高岡支部、2003年11月
 29 「平成15年度中小企業連携組織交流促進事業(創業フォーラム)」パネルディスカッション・コーディネーター 富山県中小企業団体中央会 2003年12月
- 【その他】
 CATV(ケーブルテレビ)網を活用した産業・雇用支援事業「元気印の人と企業」20回シリーズ、
 2003年10月～2004年3月、富山県
 「夢を乗せて、未来へ走る 北アルプスゴールデンルートを巡る旅」信越放送・新潟放送・
 チューリップテレビ・岐阜放送、2003年5月24日
 「こんにちは富山県 コミュニティビジネス」北日本放送 2003年12月21日

卒論タイトル一覧

学籍番号	学生氏名	担当	主題
------	------	----	----

2000R002	天野 司	増田	Javaによる画像情報処理
2000R003	荒井 美樹	桑原	生物分解性高分子の実用性能と分解機構
2000R005	新山 善昭	才田	喫煙による室内環境汚染と人体の影響
2000R006	池田 悠	安藤	太陽光発電について
2000R007	石場 比路志	小西	ブランド戦略に関する一考察
2000R008	井出 祐子	石井	家庭菜園と有機農法
2000R009	稲垣 健一	尾畑	人間・生活と環境 - 高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて -
2000R010	今井 博一	助重	中心商店街活性化の現状と今後の方向性
2000R011	岩黒 裕	才田	シックハウス - ホルムアルデヒド吸着剤の開発
2000R012	上田 ひかり	上坂	就職活動状況報告システムの研究開発
2000R013	上林 哲生	安藤	家庭省エネルギーに関する調査
2000R015	江上 徹三	金子	戦争とテレビジャーナリズム
2000R016	江野本 崇嗣	木村	テレビゲームの歴史
2000R019	大塚 愛	桑原	環境ホルモン 環境ホルモンに対する意識
2000R020	大野 知春	上坂	What's New 自動更新システムの研究開発
2000R022	奥井 大樹	尾畑	環境に負荷をかけない洗浄システムに関する検討
2000R023	織田 賢治	小西	関係性マーケティングに関する一考察
2000R024	開坂 智晴	桑原	鶏羽毛の有効利用 繊維・フィルムへの応用
2000R025	梶 信博	高橋	ベンチャービジネスに関する一考察
2000R026	渦淵 稔寛	安藤	バイオマスエネルギーの現状と課題
2000R028	金尾 優子	上坂	ホームページデザインの研究と実証
2000R029	紙谷 真一朗	安藤	海洋深層水とその使い道について - 生活に基づく海洋深層水 -
2000R030	亀山 大介	安藤	世界の石油事情 - 石油開発の歴史 -
2000R031	川上 百合子	上坂	卒業生向けのメールマガジンシステムの研究開発
2000R032	北村 達也	増田	デジタルとアナログの関係性における社会基盤の発展の相違
2000R033	草野 英里子	尾畑	化粧史に見る洗浄文化
2000R034	黒川 健志	助重	富山市における中心商店街の活性化
2000R035	黒崎 香織	石井	豊かな石油時代の終焉 ~ 富山県の農業の未来 ~
2000R036	黒田 香子	助重	コンビニの現状と生活利便性
2000R038	小塚 憲博	安藤	喫煙に関する学生の意識調査
2000R039	小幡 章博	才田	富山県内における中小企業のISOの取得状況と問題点
2000R040	酒井 宏	尾畑	環境に負荷をかけない洗浄システムに関する検討
2000R041	堺 正行	木村	日本経済の歩む道を家電業界の歩んできた道
2000R043	柴 和恵	金子	地域活性化とメディア
2000R045	柴田 博美	桑原	生物分解性高分子の実用性能と分解機構
2000R047	下村 兵庫	助重	草島環状線の開通に伴う交通流動と都市開発の関係について
2000R048	菅沼 宏美	北野	滑川中心市街地の活性化
2000R050	杉山 吉寿	安藤	燃料電池自動車についての調査研究
2000R051	高 久実子	上坂	卒業生向けメールマガジンシステムの研究開発
2000R052	高橋 芳樹	助重	市町村合併に関する住民意識 - 滑川市の事例 -
2000R054	谷 一樹	助重	富山駅における鉄道・バス接続の実態と問題点
2000R055	谷 恭兵	尾畑	エネルギー問題と天然ガスについて
2000R056	谷井 智草	上坂	What's New 自動更新システムの研究開発
2000R061	照田 奈々	桑原	化粧品の成分分類
2000R062	富樫 嘉人	才田	海洋深層水の利用と地域発展の可能性
2000R064	中 安司	北野	効果的な学習方法について
2000R065	仲井 勇司	尾畑	熊野川の水環境 熊野川ダムと熊野川水質の現状
2000R066	中村 文香	尾畑	洗顔洗剤の基礎的研究 深層水の有効利用を目指して
2000R067	中村 紗弥子	長尾	カルフルの出店・店舗戦略

2000R068	中易 浩希	木村	ブランド戦略 今、なぜブランドなのか
2000R069	奈良井 祐子	長尾	女性客対象店舗の背景要因分析
2000R072	浜野 薫	木村	富山県の住宅メーカーにおける経営管理、経
2000R073	濱野 裕佳子	木村	中東
2000R076	廣田 知恵	尾畑	シックハウス症候群と建築物の関連性
2000R077	藤井 朋子	桑原	種々の油による石けんの作製
2000R078	藤原 美智子	木村	携帯電話業界の競争戦略 学生を対象とした実態調査
2000R079	舟場 寿生	尾畑	イタイタイ病発生の経緯とその対策について
2000R080	古塚 知子	尾畑	化粧史に見る洗淨文化
2000R081	前田 一	桑原	シックハウス - ホルムアルデヒド吸着剤の開発
2000R083	正橋 徹也	才田	富山県内における中小企業の ISO の取得状況とその問題点
2000R084	松嶋 倫大	北野	日本におけるデジタル・デバイドの現状とその解消に向けての検討
2000R086	松田 陽一	助重	山田村における地域情報化の現状と問題点
2000R087	松永 景子	上坂	就職活動状況報告システムの研究開発
2000R088	松本 崇幸	小西	リレーションシップマーケティングに関する一考察
2000R089	湊谷 信一朗	上坂	Java 言語を用いたパズルゲームの研究開発
2000R090	宮崎 早織	桑原	UV カット化粧品に関する検討
2000R091	宮島 由紀	上坂	就職活動状況報告システムの研究開発
2000R093	宮本 健	助重	富山県における ISO14001 取得自治体の現状
2000R094	宮本 奈月	桑原	服装のコーディネートに対する色彩の影響
2000R095	村上 智美	上坂	What's New 自動更新システムの研究開発
2000R096	森 達哉	高橋	マネジメントに関する一考察
2000R097	森岡 竜也	登石	市町村合併による富山の未来像
2000R098	安田 喬	木村	ユニクロの経営戦略について 過去の成功と今後の展望
2000R099	保田 隆徳	高橋	人口転換(The Development Transition):経済成長に与える影響
2000R100	藪田 鋭真	助重	城端町における中心商店街の活性化
2000R101	山下 祐樹	木村	まんが喫茶の進化について まんが喫茶の発展の背景と将来像
2000R102	山田 真理子	増田	生活の中での色彩計画
2000R103	山田 龍一郎	上坂	Java 言語を用いたパズルゲームの研究開発
2000R104	山道 宗晃	才田	社会環境と和の心
2000R105	山本 友子	桑原	環境に優しい染色方法
2000R106	四ツ谷 史恵	助重	富山県における地産地消への取り組み
2000R107	米澤 早耶香	上坂	卒業生向けメールマガジンシステムの研究開発
2000R902	中村 江里	石井	豊かな石油時代の終焉 ~ 富山県の農業の未来 ~
2000R903	松原 和徳	増田	Web アプリケーションと XML